

Frequency of the Bittern's Call

Ichiro Kikuta¹

The frequency of the call of Bittern *Botaurus stellaris* was examined all day on 17—18 June 1983 in a marsh near Lake Utonai. The frequency of the call was high from 19:00 to 20:00 and 2:00 to 3:00 in the night, but the voice was not heard from 10:00 to 16:00 in the daylight.

1. 25—3 Yamaguchi-aza-numata, Fukushima shi 960.

九州でのシロハラクイナの繁殖初記録

田中正一¹

九州以北では初めてと思われるシロハラクイナの繁殖を、鹿児島県串木野市で確認し、放棄された卵を採集することができたので報告する。

1. 発見までの経緯 1981年5月17日、串木野市北部の深田の水田で成鳥1羽を観察した。その後同地で5月24、30日にも成鳥1羽を観察したが、田植が始まったためか姿を消した。1982年2月27日、五反田川沿いの河内で成鳥1羽を観察した。さらに4月24日には浅山橋を挟んで2番、4羽を同時に観察し、直後に上流で別のシロハラクイナの声を聞いた。また金山川と五反田川との合流点附近で別の番と思われる羽も観察した。

2. 巣卵の発見 1982年4月23日、1羽が枯草を食い千切り、浅山橋の北岸上流3～40mの土手の草むらに運びこむ。この場所へ何回も出入りするので営巣していると思われた。そこで、営巣を妨げないために2羽がこの場所を離れた時を見はからって草むらをのぞいたところ1巢7卵を発見した。巢は地面より約30cmの草の間にあり、皿形で巢材には枯草が使われていた。その後は営巣の妨げとなることを恐れて近づかずに見守った。その後、親鳥が巢の場所へ出入りしなくなったので5月10日に再度巢をのぞいたところ、巢内で卵殻と破損した卵3個を発見した。親鳥の行動から判断して、雛がすでにフ化したか巢が放棄されたと考え、破損した卵を採集した。

3. 雛の観察 6月19日、河良橋の7～80m上流で親鳥2羽の後に付いて行動する、フ化後間もないと思われる雛3～4羽を確認した。6月23日には浅山橋の1～20m下流で親鳥1羽と雛5羽を確認した。最初の場所から7～800m離れていることと、複数の番の生息を確認していることから別の雛と思われたが確信には至らなかった。しかし7月11日に河良橋下流5～10mと浅山橋上流約100mで約30分の間で2組の雛を観察し、



写真1 シロハラクイナの親子 (1982.6.23)

外見上も河良橋の雛の背中にはうぶ毛があるが、浅山橋の雛にはうぶ毛がない点で識別できたので2番の繁殖が確認できた。

その後これらの雛は生長し、8月上旬には親鳥なみの体になり単独で行動するようになった。

4. 新たな雛の観察 8月5日に河良橋下流約200mで黒いうぶ毛の雛4羽を確認した。また9月8日には河良橋の真下でフ化後間もないと思われる雛3羽+を確認した。したがって今年五反田川流域でフ化を確認した雛は4組、17羽となった。

本稿をまとめるにあたっては、柴原克明氏の援助を頂いた。厚くお礼申し上げる。

1982年9月15日受理。

1. 〒896 鹿児島県串木野村元町112. (鹿児島県支部)

First Breeding Record of White-breasted Waterhen *Amaurornis phoenicurus* in Kyushu

Shoichi Tanaka¹

The author found one nest of a White-breasted Waterhen *Amaurornis phoenicurus* containing seven eggs in April 1982 and recognized their chicks in June 1982 in Kagoshima Prefecture in Kyushu. It is the first breeding record of this species in Kyushu. This species previously bred only in the Ryukyu Islands.

1. 112 Motomachi, Kushikino-shi 896.

高知県におけるシロハラクイナの初記録

澤田佳長¹

1983年5月21日、高知県の西部を流れる四国第二の川、四万十川の上流、高知県幡多郡十和村小野地区でシロハラクイナを確認することができた。

同月20日地元民から不明な鳥の声を録音したので調べてほしいという電話があり、その声を電話で送ってきた。クイナのような声であるが、はっきりしないため、翌日、早朝現地へ、午前6時に着くと道路のそばの休耕地でちらちら動いているのを確認、声も聞えてきた。その後わずかな時間であったが記録用に写真撮影ができた。

現地は土佐中村市から四万十川の上流、車で約2時間ほどの場所である。渡来地は約10aほどの休耕地でかなりの雑草が茂っていた。姿はあまり見せず、昼間はほとんど草の中に入っており、朝、夜間に鳴声が聞えていた。

現地での声の確認は5月3～4日ごろから



図1 高知県で記録されたシロハラクイナ
(1983. 5. 21)